

沖縄県、鹿児島県で牛流行熱が発生

九州以北では24年ぶりの発生です！

【概要】

発生戸数(頭数): 沖縄県3戸(4頭)、鹿児島県6戸(16頭)
全頭黒毛和種

発生日: H27年 8月7日から

牛流行熱ってどんな病気？

本病は届出伝染病です。

原因: 牛流行熱ウイルスの感染で発症。吸血昆虫により媒介。

臨床症状: 突発的な発熱(41~42℃)、流涎、呼吸促迫、食欲不振、跛行、起立不能、乳量低下等。解熱により回復する場合が多い。種雄牛で重症化。海外では、乳用牛で発症牛のうち10%が死亡。

発生: 近年、国内では沖縄県の一部で発生。海外では中国や台湾で流行。6月~11月にアルボウイルス(吸血昆虫が媒介するウイルス)の動向調査を実施していますが、山梨県内で感染牛は認められていません。

対策: 不活化ワクチンによる予防、媒介昆虫の防除

国内のワクチン接種率は低い状況です。

**ワクチン接種により
本病を予防しましょう！**

飼養衛生管理基準を遵守し、**飼養家畜の臨床症状等の的確な観察、異常発見時の早期通報**など、引き続き、防疫対策に万全を期すようお願いいたします。

家畜の病気に関するお問い合わせは山梨県東部家畜保健衛生所まで
電話・・・055-262-3166 FAX・・・055-262-3108
夜間の連絡は・・・090-5535-8005
土日・休日の連絡は・・・090-5535-8005 または090-5544-7868